

2018 年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：フランス パリカトリック大学附属語学学校

留学期間：2018 年 2 月～2018 年 6 月

半年間のパリ留学を終えて、フランス語だけでなく一人の女性としても成長することができました。初めての留学、初めてのパリ。はじめは不安だらけでしたが、来たからにはもう頑張るしかないという気持ちでした。最初の 1 か月間はホームステイで、本当の家族のように迎え入れてくれてとても幸せでした。しかし、フランス語が全くわからず初めはひたすら笑っていました。ニュアンスで捉えて、どうしても伝えたいときは翻訳機能を使いながら会話をしていました。1 か月に 1 回のホームパーティーはとても賑やかで楽しく、私が一人暮らしを始めてからも毎月のように呼んでくれました。少しずつでも 1 か月ごとにだんだんみんなと会話ができるようになっていくのが、本当にうれしく、フランス語の上達を実感できました。

4 か月間の語学学校はクラス替えのない制度でした。13 人中半数以上がまさかの日本人で、日本人とは話さないと心に決めていた私にとっては最悪でした。学校では日本語を話してしまうので、放課後や休日はできるだけ外に出たり外国人の友達と遊ぶようにして、フランス語を話そうと心がけました。今振り返ってみると、これが私にとってフランス語をスキルアップさせるうえでよかったことだったと思います。

留学中最も大変だったことは家探しです。ホームステイ後はスタジオに一人暮らしの予定でした。しかしトラブルがあって住めなくなり、家が見つかるまで 2 週間ほど友達の家に泊まらせてもらうことにしました。何件も不動産を回り、ひたすら掲示板やサイトで探す毎日でした。パリでの家探しはなかなか難しいと聞いていたものの、ここまできついものだとは思いませんでした。結局、短期旅行者用のサイトで見つけて、約 1 か月ごとに計 5 回引っ越しをしました。様々な地域に住めてそれぞれの良さを知れて、なかなかない経験で、本当に大変でしたがこれもいい思い出です。

私は勉強が嫌いで追い込まれないとできないタイプなので、今回約半年間パリ留学というチャレンジをして本当に良かったと思っています。その中でも特に嬉しかったことは、学校では学べない生きたフランス語を習得できたこと、人との出会いです。机に向かっていくら勉強しても発音やアクセントなどを学ぶには限界があると思います。私は今回、人と触れ合ってコミュニケーションを取りまくる！ということを強く意識していました。ホストファミリーや学校の友達などパリに行かなければ出会えなかった人たちとの出会いを本当に嬉しく思い、私のかけがえのない財産です。留学を通して学んだことをや経験したことを今後生かしていきたいと思っています。